



親子映画会のご案内

“いじめ”をなくし、相手を思いやる心を育むために



国連NGO横浜国際人権センター山梨ランチでは、甲府市と連携して、子どもたちに豊かな人権感覚を育てていただくため、「親子映画会」を開催します。

「差別は生命にかかわる」、このことを一体、何人の人が本当に理解しているのでしょうか。往々にして、私たちは、知らぬうちに人を傷つけ、その事さえ気づかない事があります。“差別”の中においても、見ようとしなければ“差別”は見えてこないのです。これらの映画は親と子が共に人権の尊さについて話しあえる教材として制作されました。

日 時	上映場所	内 容
8月3日(土)	甲府市立図書館 (甲府市城東1-12-33)	「あかね雲」(実写・53分) (1回目) 10:30～ (2回目) 13:30～
9月7日(土)	甲府市総合市民会館 (甲府市青沼3-5-44)	「たぬきの恩返し」(アニメ・30分) (1回目) 11:30～ (2回目) 14:30～

★映画のあらまし★

「あかね雲」：実写映画

中学校教師の玉村紘紗子(西川峰子)は、自分が同和地区出身である事を、そろそろ子ども達に話そうかと悩んでいた。特に最近、家族はぎくしゃくしており、写真家志望である高校2年の娘・美保(星野真理)と時折、言い争いが絶えない。その上、中学2年の息子・拓也が友人のために塾を休んだ事から、父・賢造(阿藤 海)と大喧嘩になってしまう。ますます話すべきか迷う紘紗子。友人達の励ましもあり、何とか差別と向き合う決意をする。そんな時に、紘紗子の母親が倒れ、これを機会に家族みんなで実家に帰る事にした。・・・この映画は、「子どもに部落をどう教えたらいいのか」と迷っている、母であり部落出身教師である一人の女性の悩み、苦しみ、そして心境の変化を通して、自らの生きる意味と、本音で語り「誇り・やさしさ・たくましさ」が、母から子へのメッセージとして、描かれています。



「たぬきの恩返し」：アニメ映画

自然を愛し、自然が与えてくれるやすらぎを沢山のの人に味わって欲しいと、奥山辰夫は妻と二人で人里離れた山奥で温泉旅館を経営している。しかし、その旅館が大ピンチを迎えている・・・そんな時、林道を横断しようとして車にはねられた狸を助けたことから物語は急展開します。私たち人間の世界では“恩返し”という言葉は死語になってしまったのでしょうか？

(その他、いろいろなDVDがありますので、横浜国際人権センター山梨ランチまで、ご連絡ください。)

国連NGO横浜国際人権センター・山梨ランチ

代表 横山 隆史 (全日本同和会山梨県連合会会長)

〒400-0831 甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房1階 TEL 055-243-8563